東中だより

No.9　　令和２年１１月２５日　　伊丹市立東中学校長　　垣　内　　修

1年生　合唱発表会！

１１月２０日（金）５・６校時、１年生の合唱発表会を体育館で開催しました。新型コロナウイルス感染症防止対策のため、マスクをつけ、距離を空けての実施でした。開会の言葉で生徒代表から「今年はいろいろな行事が取りやめや縮小となっていますが、今日、１年生のみんなで合唱の発表の場を設けることができました。一緒に取り組んできた友だちや応援してくれる保護者の方々、合唱の指導や会の準備をしてくださった先生方、いろんな方への感謝の気持ちを込めて、精一杯歌い、よい発表会にしましょう。」という挨拶で幕を開けました。

１年生にとっては、この東中学校に入学してから初めての合唱です。各クラスのメッセンジャーからは、「人によってその歌で届けたい人は違うかもしれませんが、誰かの心に届くような歌を歌います。」「マスクで笑顔が見られない中ですが、この歌で地球全体を笑顔にしたい。」「温かく優しい歌声で皆さんの心を満腹にします。」など、クラスそれぞれが、精一杯力を合わせて取り組んできたこれまでの想い、この合唱にかける想いを発表してくれました。

１年生は初めての経験でしたが、本番でのスムーズな移動やきびきびとした動き、凛とした姿勢も立派でしたが、一生懸命に歌い、心を込めて歌う様子、そして、とっても優しいその歌声に、聴いていて感動しました。気持ちを１つにして一生懸命頑張り、今しかできないことを真剣に取り組み、学級で、学年で団結してよく頑張ったと思います。聴いていてとても優しい気持ちなりました。素敵な合唱をありがとうございました。

どのクラスも素晴らしい合唱でしたが、結果は、金賞１組・銀賞５組・銅賞６組でした。

合　唱　曲

１組「きみにとどけよう」　／２組「夜汽車」／３組「心の中にきらめいて」

４組「地球星歌～笑顔のために～」／５組「Ｃｈａｎｇｅ！」

６組「永遠のキャンバス」　／７組「変わらないもの」

今回の１年生合唱発表会をもちまして、各学年の体育演技発表会及び合唱発表会が全て終了いたしました。皆様のご理解、そして温かいご支援に心より感謝申し上げます。今後、各発表会の記録を学年ごとに DVD に収録し、全保護者の皆様にお届けいたします。（１２月末に配付予定）

３年 生　キクリンピック！

１１月１１日（水）５、６校時、３年生は学年行事の「キクリンピック」を行いました。新型コロナウイルス感染症対策として、必要に応じてマスク、手袋の着用、人数制限を行っての実施でした。ラケットレースやぐるぐるバット、ドリブルレース、クラス対抗綱引き、そして３８人の学級対抗リレーと、３年生が一致団結して全力で、そして、本気で楽しんでいるのが伝わってくる笑顔いっぱいの行事でした。見ていて、本当に気持ちよく爽やかでした。次の日は筋肉痛で、動くたびに「あいたたたた」と言っている生徒も多かったようです。

これからもいろいろなことがあると思いますが、ひとつのことにこれだけ一生懸命になれる３年生ですから、何があっても、みんなで協力して、乗り越えていくことと期待しています。

美術科＆美術部＆学習室の作品展示発表のお知らせ

【１．展示期間・場所】

美術科１年　12 月の三者懇談会期間・３階の渡り廊下／美術科２年　12 月の三者懇談会期間・１階の渡り廊下

美　術　部　12 月の三者懇談会期間・３階第１美術室14 時～15 時 45 分

学習室　12 月の三者懇談会期間・２階調理室14 時～16 時／こやの里特別支援学校　12 月の三者懇談会期間・２階調理室14 時～16 時

【２．展示作品】

美術科１年…絵文字／美術科２年…トリックアート／美術部…部活動で制作した作品

学習室…小さな陶芸、授業風景写真など／こやの里特別支援学校…授業での作品

※　美術科３年作品は、11 月の予備懇談会期間に展示を終了しました。

※　**三者懇談会の時期に美術作品の展示をしていますので、懇談会前後に是非ご覧ください。**

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止について（ご協力のお願い）

保護者の皆様には感染症対策として、生徒の健康観察の実施や持ち物の徹底、生活習慣の確立等にご協力いただいておりますことに心より感謝申し上げます。伊丹市では感染拡大防止の観点から、生徒やその同居者が濃厚接触者に特定された場合や、保健所等の指示により PCR 検査を受ける場合、自宅待機をお願いしています。つきましては、本趣旨をご理解の上、生徒やその同居者が濃厚接触者に特定された場合や、PCR 検査を受ける場合は、決まった時点で、学校へご連絡いただきますようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症に関する偏見やいじめ、差別の防止について

新型コロナウイルス感染症について、いろいろな話を聞いて、不安な気持ちになっている人もいることと思います。このようなときこそ、私たちは強くつながり、ウイルスに負けない絆をつくらなければならないと思います。

テレビや新聞、ネット等で、新型コロナウイルス感染症に関して様々な立場の人たちが傷つけられる言葉が見聞きされています。

検査を受けた方、感染した方、病気の広がりを予防するために働いている方、外国出身の方、そして、それぞれの家族の方、みんな新型コロナウイルスという見えない敵と果敢にたたかい、立ち向かっている人たちです。このような人たちを傷つけるような言葉や行動は、決してあってはならないことです。

また、うわさやうそを SNS で発信したり、それをうのみにして拡散したりすることは、不安をさらに広げてしまう行為です。身近な人と確認し合ったり、科学的に考えたりすることで、間違った情報にまどわされることはずいぶん少なくなるでしょう。

不安な気持ちを抱えている人はたくさんいます。でも、不安な気持ちを、誰かを攻撃したり、仲間はずれにしたりする気持ちに変えてはいけません。みんな同じ社会で、ともに頑張っている仲間です。「だいじょうぶ？」「たいへんだね」と声をかけあい、寄り添いながら「いっしょに頑張ろう」と強くつながれば、きっと、この不安と危機を乗り越えていくことができるはずです。たたかう相手は「新型コロナウイルス」です。力を合わせて、みんなでいっしょに頑張りましょう。